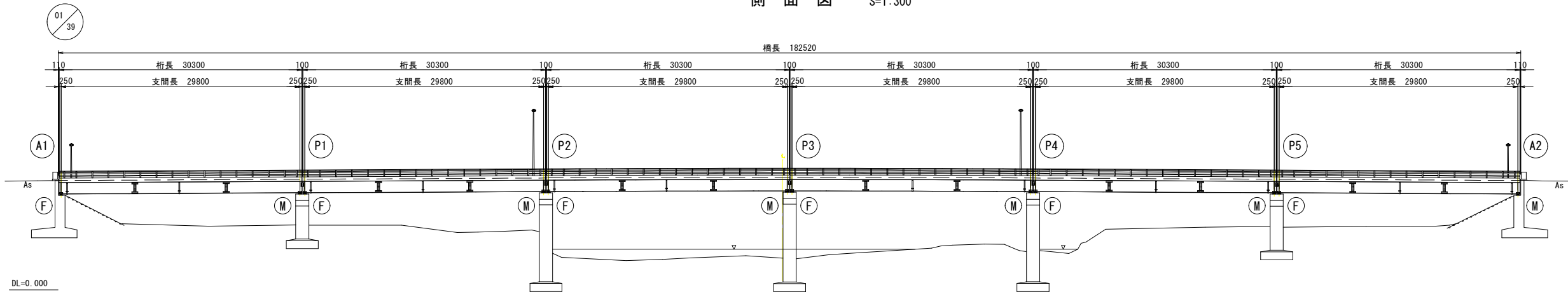


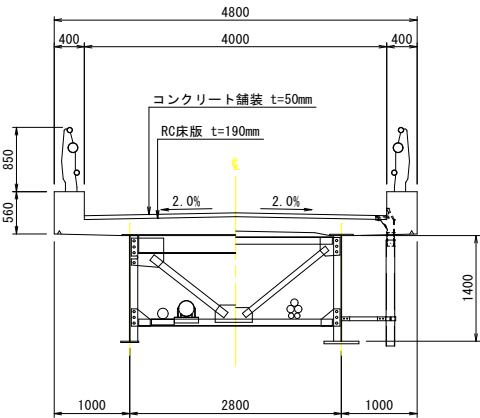
令和7年度 神明橋橋梁補修工事			
工事番号		第 10 号	
路線 河川 名		阿光坊線	
施工箇所		おいらせ町阿光坊地内	
現況一般図		縮尺	図示
図面番号		葉中	
おいらせ町			
青 森 県			

神明橋 現況一般図

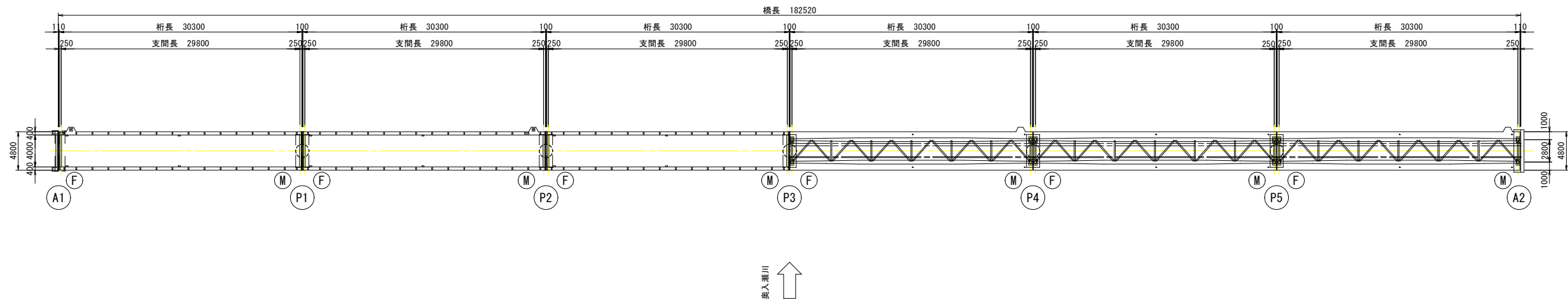
側面図 S=1:300



断面図 S=1:50



平面図 S=1:300



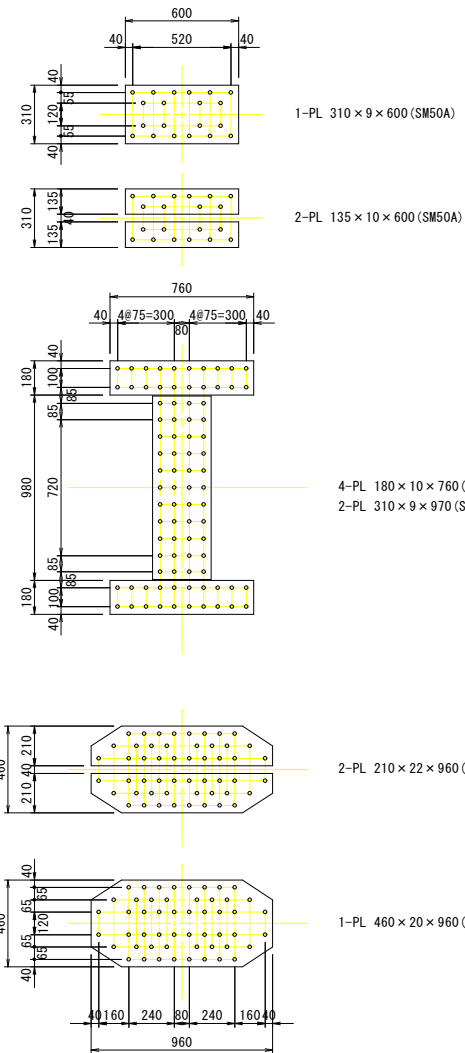
設計条件		
橋梁名	神明橋（しんめいばし）	
竣工年	1971年2月（昭和46年）	
道路規格	—	
設計速度	—	
橋格	二等橋	
設計荷重	TL-14	
橋長	L=182.520m	
支間長	6@1=29.800m	
有効幅員	4.000m（全幅：0.4+4.0+0.4=4.8m）	
斜角	$\theta=90^{\circ}$	
平面線形	直線	
縦断勾配	0.5% ↘ 0.25%放物線勾配 ↘ 0.5%	
横断勾配	2.00% ↗ ↘	
橋面舗装	コンクリート舗装 5cm厚	
設計水平震度	kh=—	
添架物	電線路 125（外径φ140）×1条（東北電力） 水道管 100/203（水道管φ100、外径φ200）×1条 NTT 80×2条（昭和47、銅管） 100×3条（昭和54、塩ビ管）	
構造	形式	単純活荷重合成鋼板桁（6連）
	使用材料	鋼材 SS41、SM41A、SM50A、B 鉄筋 SD30
詳細	躯体形式	橋台：（重力式橋台） 橋脚：張出し式（円形柱）
	基礎形式	—
	コンクリート	$\sigma_{ck}=—\text{kg/cm}^2$
	鉄筋	—
適用示方書		鋼道路橋設計示方書（昭和39年）

注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。

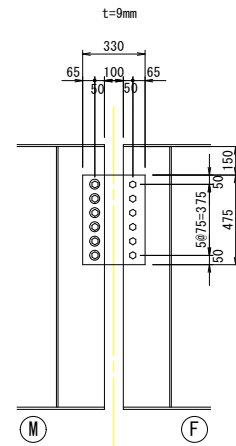
令和7年度 神明橋橋梁補修工事			
工事番号	第 10 号		
路線 河川	阿光坊線		
施工箇所	おいらせ町阿光坊地内		
各部詳細図	縮尺	図示	
図面番号	業中		
おいらせ町			
青 森 県			

神明橋 各部詳細図

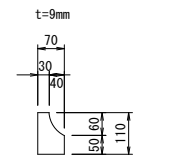
添接板詳細 S=1:20



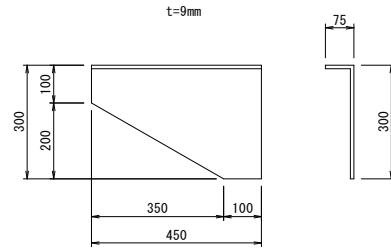
落下防止板詳細 S=1:20



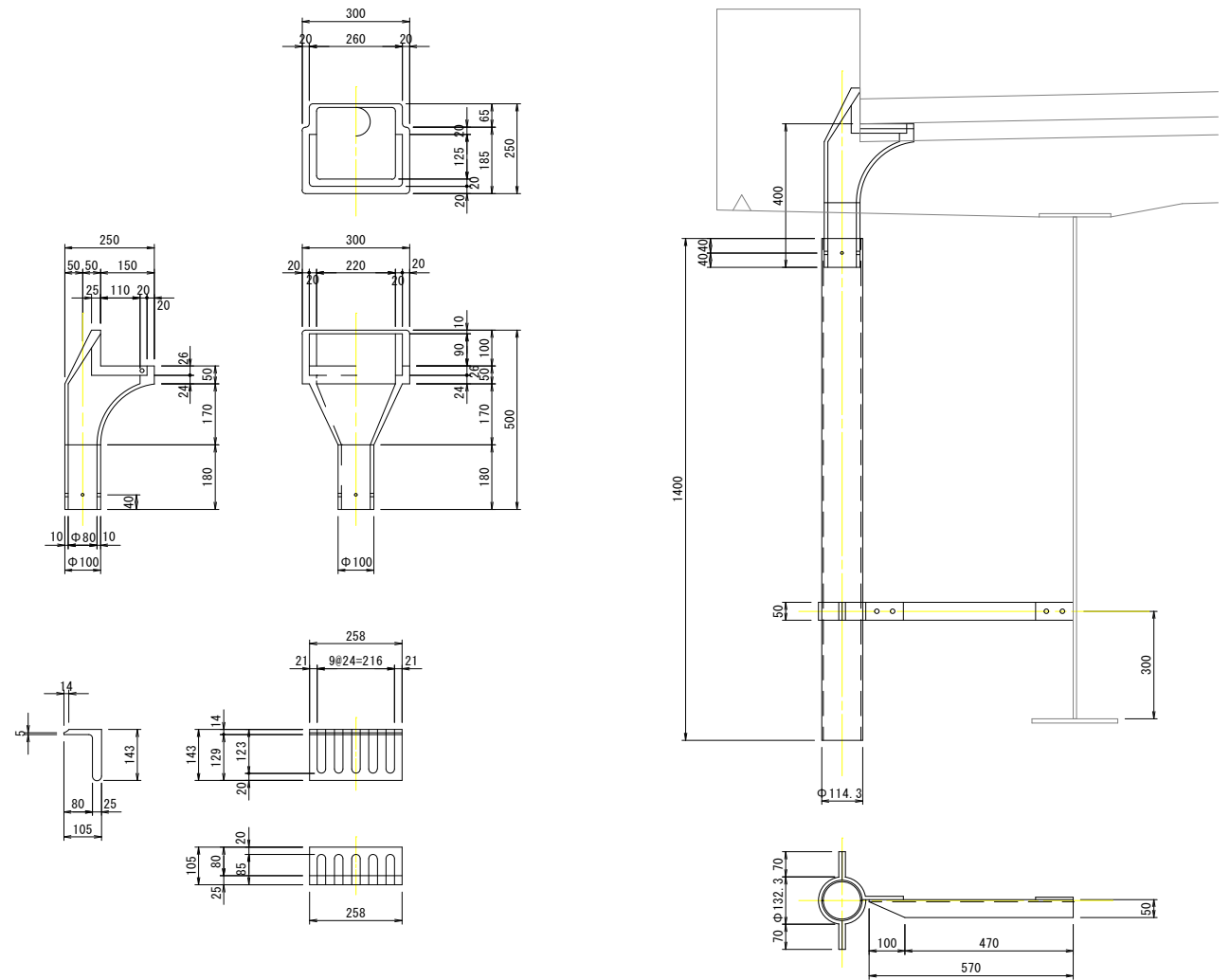
吊り金具詳細 S=1:10



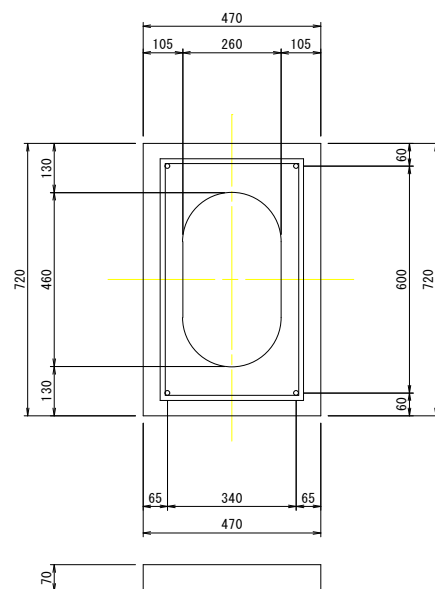
添架管支持材詳細 S=1:10



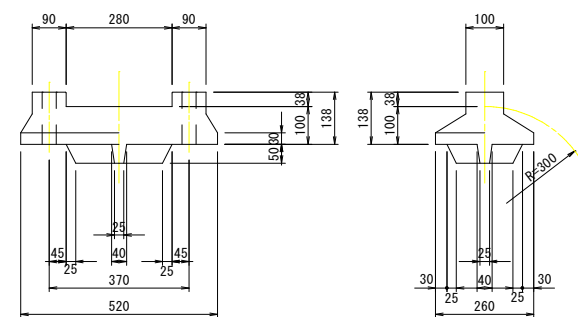
排水装置詳細 S=1:10



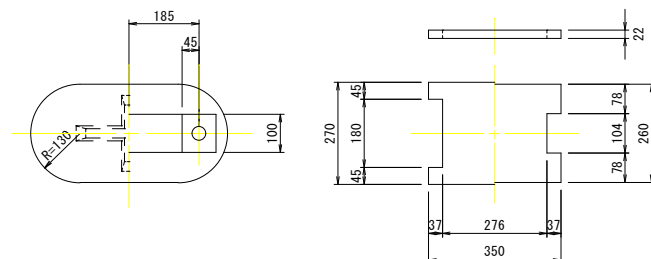
沓座



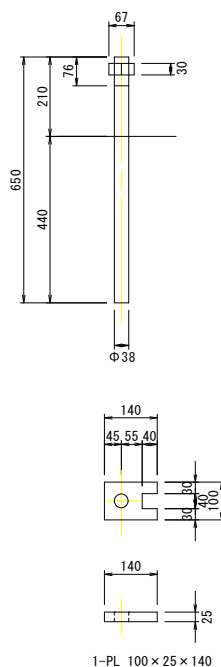
固定支承



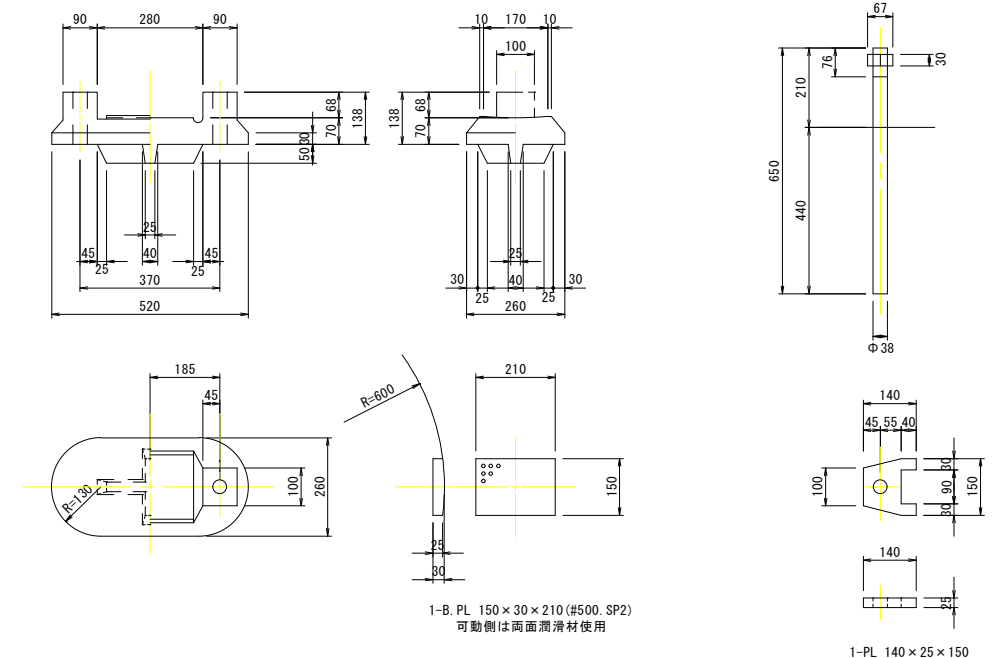
可動側 固定側



支承詳細 S=1:20



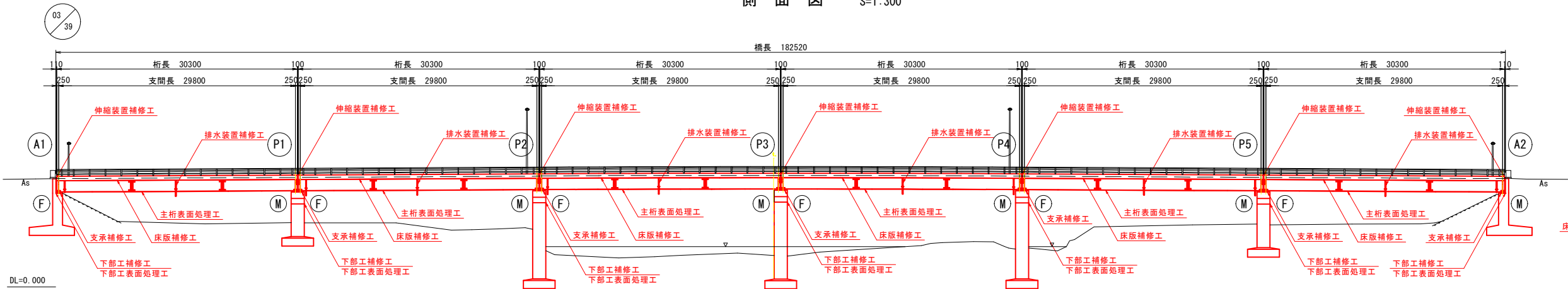
可動支承



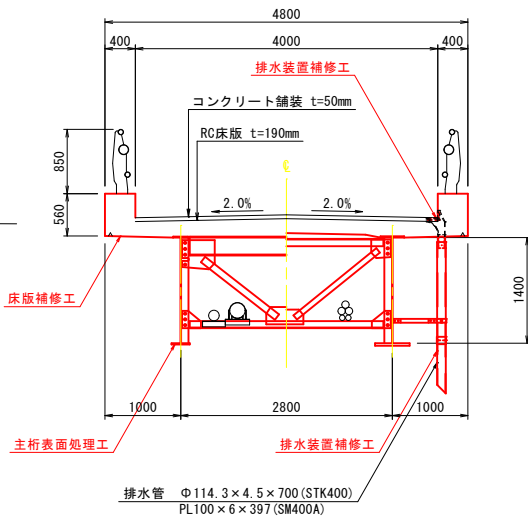
令和7年度 神明橋梁架補修工事		
工事番号	第 10 号	
路線 河川	阿光坊線	
施工區所	おいらせ町阿光坊地内	
補修一般図	縮尺	図示
図面番号	業中	
おいらせ町		
青 森 県		

神明橋 補修一般図

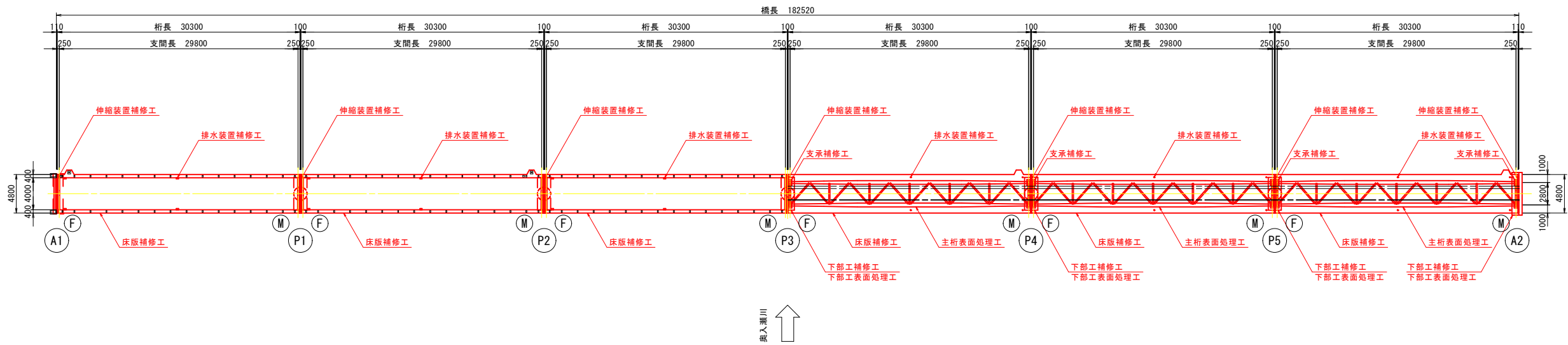
側面図 S=1:300



断面図 S=1:50



平面図 S=1:300



設計条件

橋梁名	神明橋 (しんめいばし)
竣工年	1971年2月 (昭和46年)
道路規格	—
設計速度	—
橋格	二等橋
設計荷重	TL-14
橋長	L=182.520m
支間長	6@1=29.800m
有効幅員	4.000m (全幅: 0.4+4.0+0.4=4.8m)
斜角	θ=90°
平面線形	直線
縦断勾配	0.5% 0.25%放物線勾配 0.5%
横断勾配	2.00%
橋面舗装	コンクリート舗装 5cm厚
設計水平震度	kh=—
添架物	電線路 125 (外径Φ140) × 1条 (東北電力)
	水道管 100/203 (水道管Φ100、外径Φ200) × 1条 NTT 80 × 2条 (昭和47、銅管) 100 × 3条 (昭和54、塩ビ管)
形式	単純活荷重合成鋼版桁 (6連)
	鋼材 SS41、SM41A、SM50A、B
使用材料	鉄筋 SD30
	橋台: (重力式橋台)
基礎形式	橋脚: 張出し式 (円形柱)
	—
コンクリート	σ _{ck} = —kg/cm ²
	鉄筋 —
通用示方書	鋼道路橋設計示方書 (昭和39年)

補修項目	補修工法
伸縮装置補修工	鋼部材再塗装工 (Rc-I塗装系)、金属パテ補修工、止水材取替工
排水装置補修工	鋼部材補修工、鋼部材再塗装工 (Rc-I塗装系)
主桁表面処理工	鋼部材再塗装工 (Rc-I塗装系)
床版補修工	断面修復工、表面含浸工 (高分子系)
支承補修工	鋼部材再塗装工 (Rc-I塗装系)、表面含浸工 (高分子系)
下部工補修工	表面含浸工 (高分子系)
下部工補修工	断面修復工

注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

令和7年度 神明橋橋梁補修工事			
工事番号		第 10 号	
路線 河川 名		阿光坊線	
施工箇所		おいらせ町阿光坊地内	
排水装置補修工図 (その1)		縮尺	図示
図面番号	業中		
おいらせ町			
青 森 県			




神明橋 排水装置補修工図（その1）

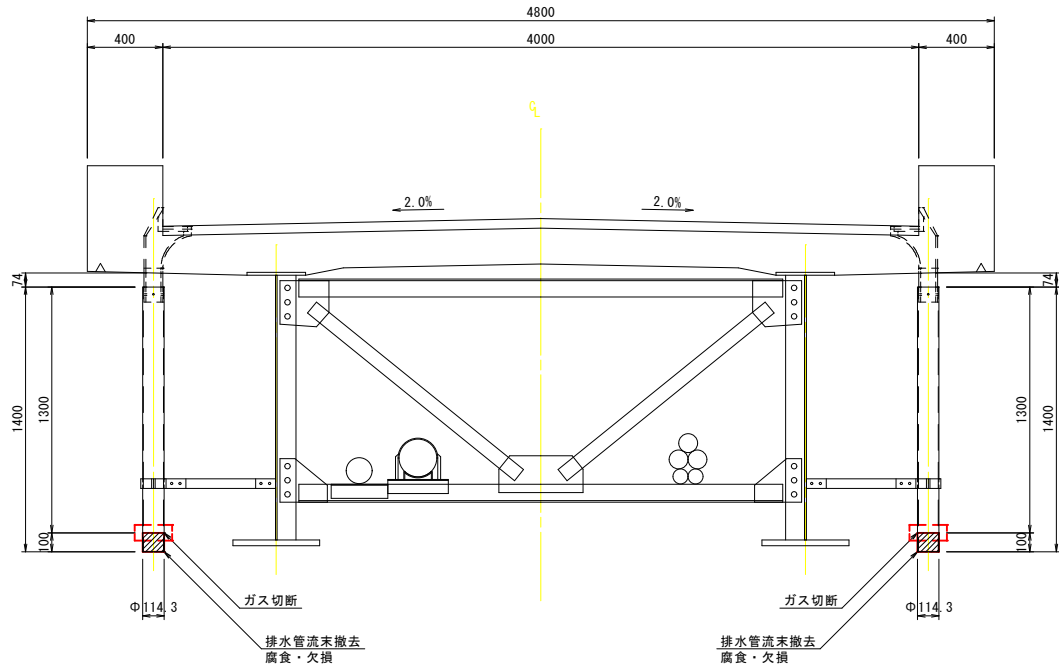
鋼部材補修工

施 工 前

S=1:20

1箇所当たり 切断 … L=0.36m , t=4.5mm


凡例：  … 既存排水管切断 L=0.36m×1本



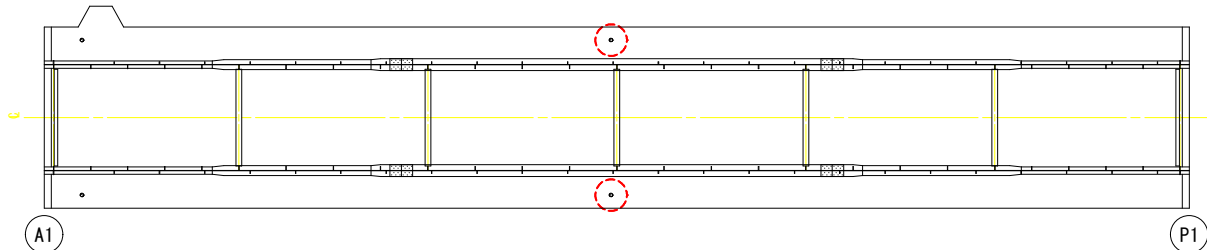
撤去部材 (N=20)
1-φ114.3×4.5×100 (STK400)

位 置 図

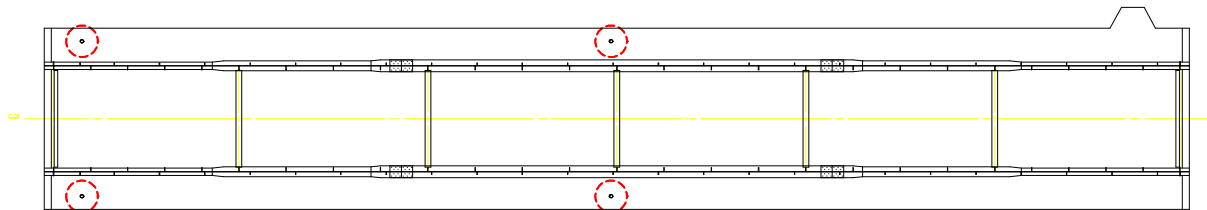
S=1:100

凡例：  … 施工箇所 20箇所（※橋台付近4箇所を除く）

第1径間、第6径間



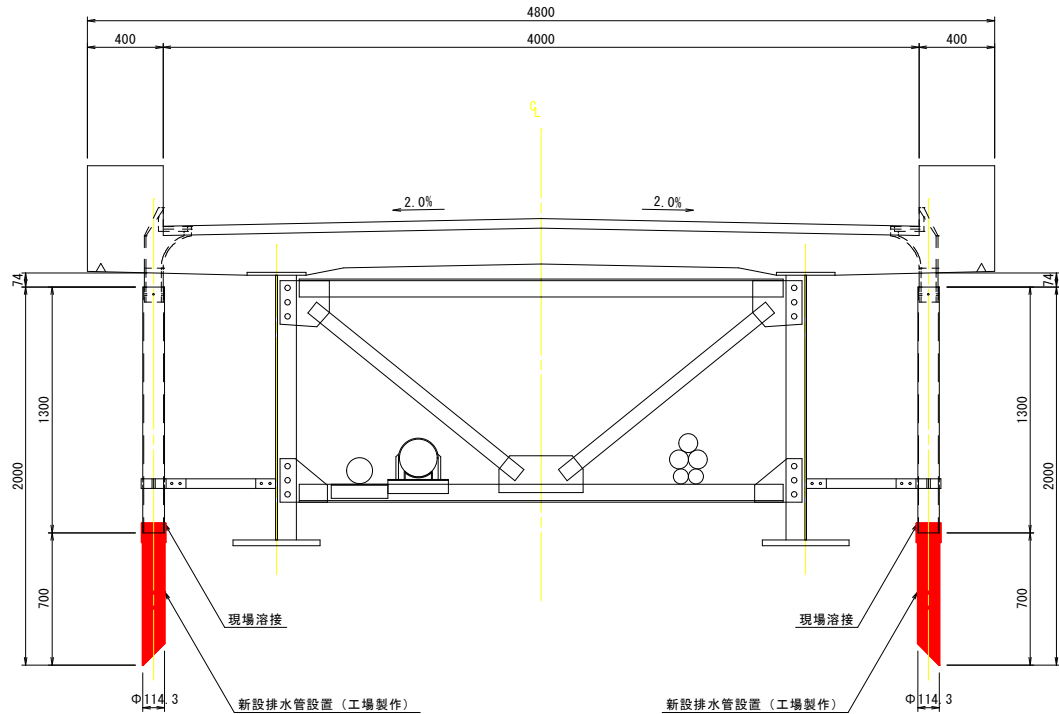
第2径間～第5径間



施 工 後

S=1:20



1箇所当たり 現場溶接 … (溶接の脚長4mm) L=0.36m

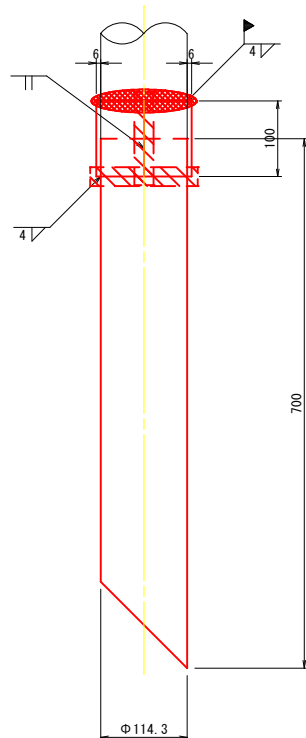


新設部材 (N=20)
1-φ114.3×4.5×700 (STK400)
1-PL 100×6×397 (SM400A)

現場溶接部詳細

S=1:5

凡例：  … 現場溶接 L=0.36m×1本
 … 工場溶接 L=0.36m×1本、
L=0.10m×1本



注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

令和7年度 神明橋橋梁補修工事			
工事番号		第 10 号	
路線 河川 名		阿光坊線	
施工箇所		おいらせ町阿光坊地内	
排水装置補修工図 (その2)		縮尺	図示
図面番号		業中	
おいらせ町			
青 森 県			



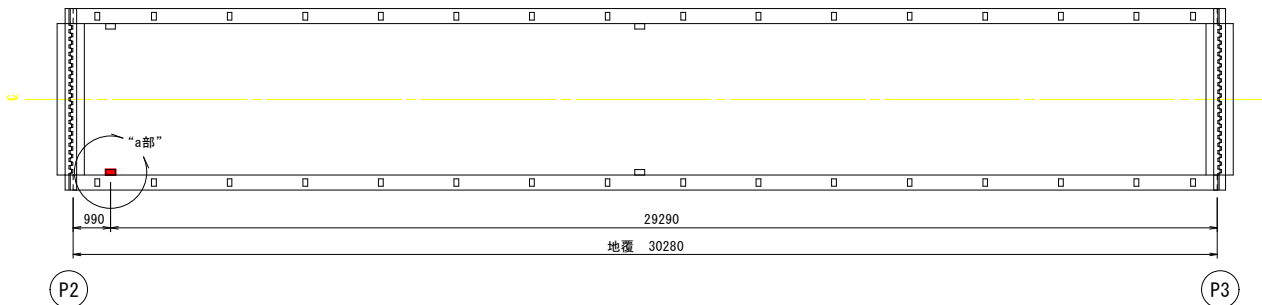
神明橋 排水装置補修工図（その2）

鋼部材補修工

位置図

S=1:100

第3径間



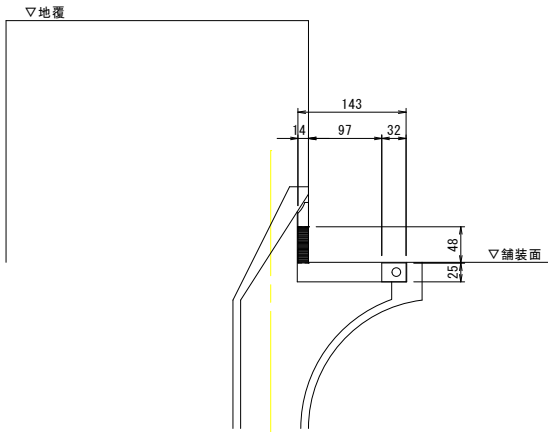
“a部”詳細

S=1:5

（既設部材撤去）

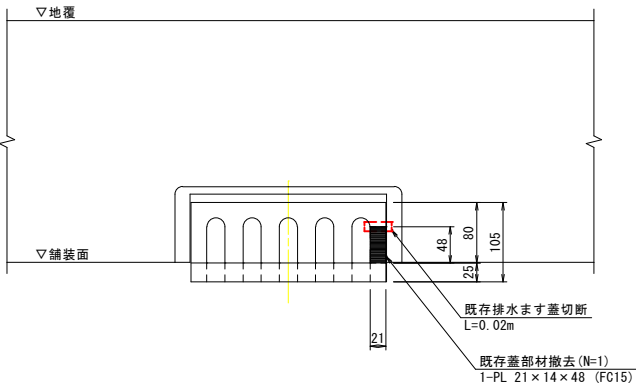
切断 … L=0.02m , t=14mm

断面図

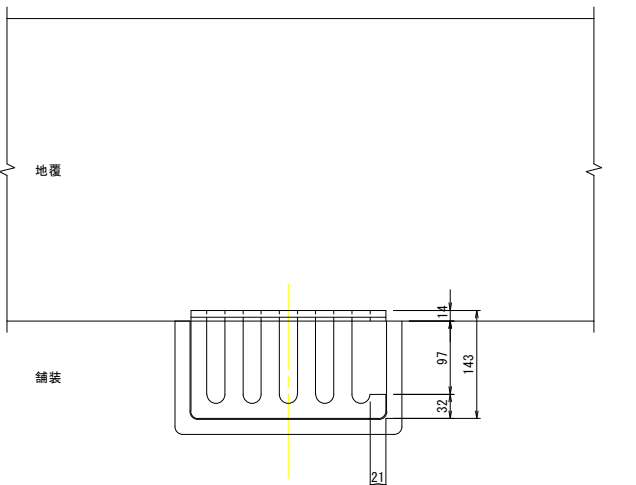


側面図

凡例：□ … 既存排水ます蓋切断 L=0.02m×1本



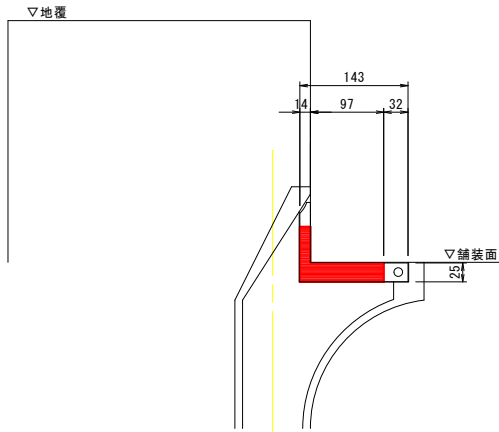
平面図



（取替部材設置）

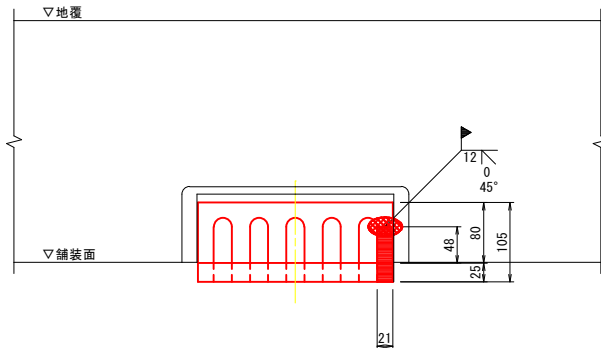
現場溶接 … (開先深さ12mm) L=0.02m
(開先深さ23mm) L=0.02m

断面図



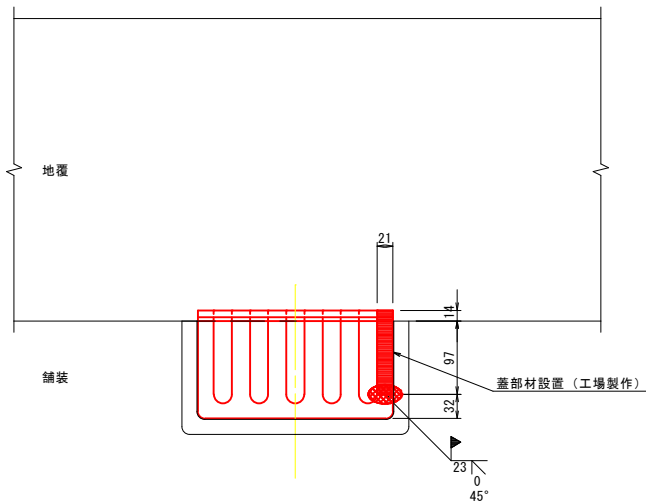
側面図

凡例：● … 現場溶接 L=0.02m×1本



平面図

凡例：● … 現場溶接 L=0.02m×1本

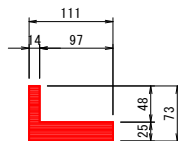


材料

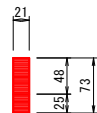
S=1:5

新設部材 (N=1)

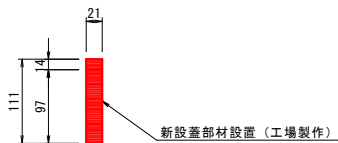
断面図



側面図



平面図



注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

令和8年度 神明橋橋梁補修工事			
工事番号		第 10 号	
路線名		阿光坊線	
施工箇所		おいらせ町阿光坊地内	
排水装置補修工図 (その3)		縮尺	図示
図面番号	業中		
おいらせ町			
青 森 県			



神明橋 排水装置補修工図（その3）

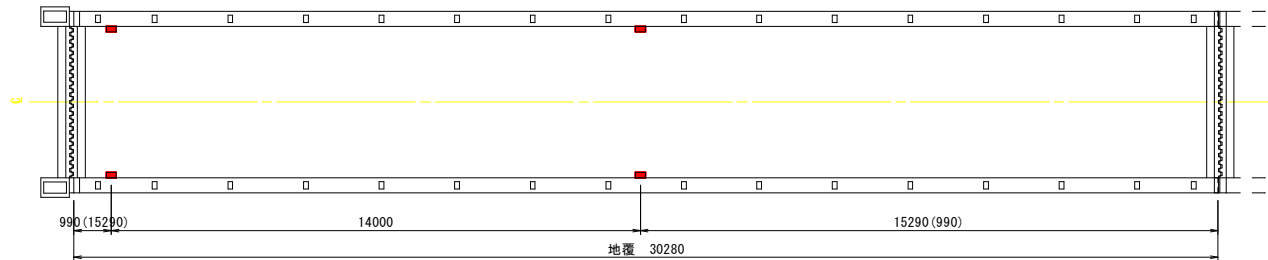
鋼部材再塗装工

平面図

S=1:100

第1径間～第6径間

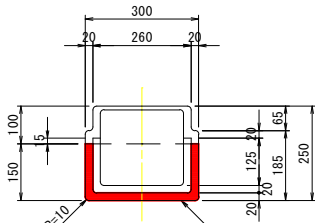
※ () 内の数値は第4径間～第6径間の寸法を示す



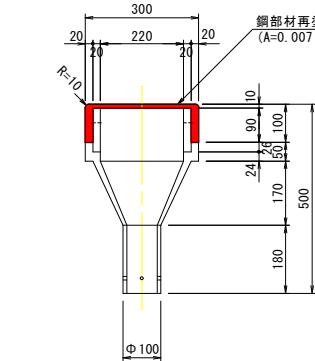
排水ます（本体）

S=1:10

平面図



側面図



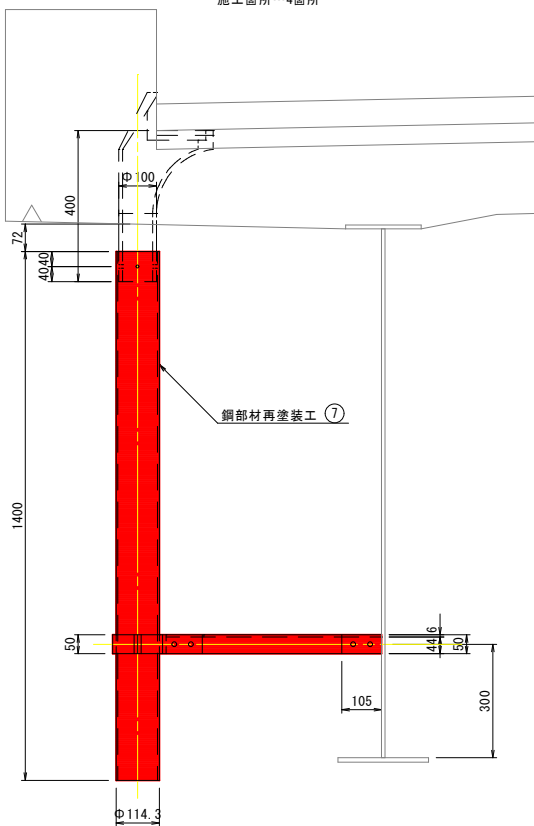
鋼部材再塗装工 ①
(A=0.011 m²) CAD計測

鋼部材再塗装工 ②
(A=0.007 m²) CAD計測

側面図

(橋台付近)

施工箇所…4箇所

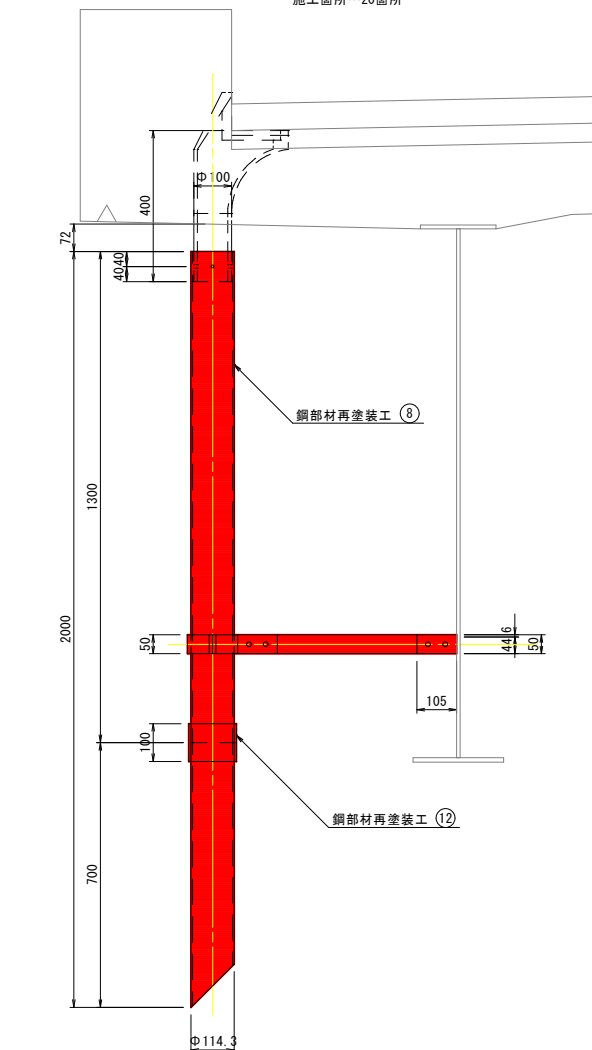


鋼部材再塗装工 ⑦

側面図

(橋台付近以外)

施工箇所…20箇所



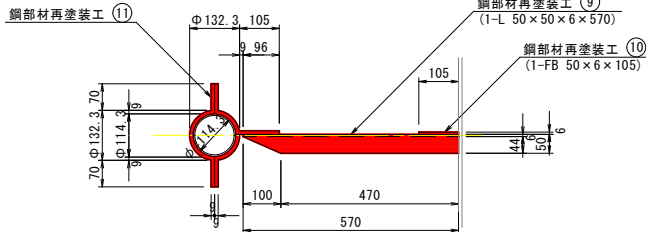
鋼部材再塗装工 ⑧

鋼部材再塗装工 ⑫

排水管、取付金具

S=1:10

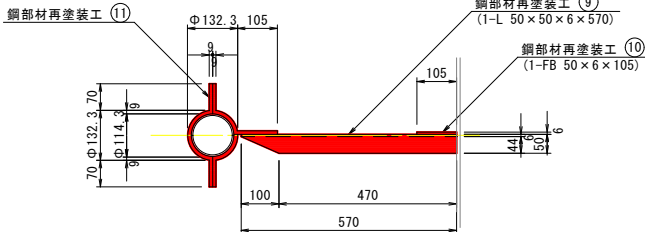
平面図



鋼部材再塗装工 ⑨
(1-L 50×50×6×570)

鋼部材再塗装工 ⑩
(1-FB 50×6×105)

平面図



鋼部材再塗装工 ⑨
(1-L 50×50×6×570)

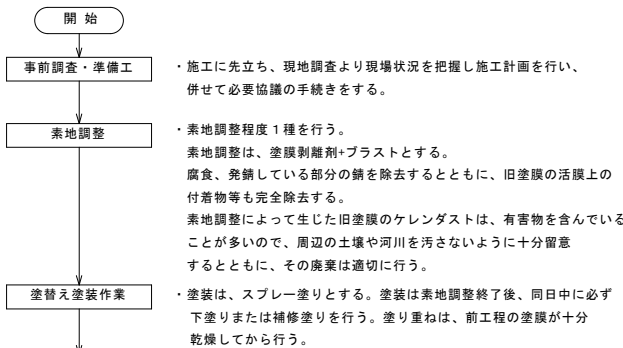
鋼部材再塗装工 ⑩
(1-FB 50×6×105)

数量表（1径間当り）

工 法	箇 所	数量
鋼部材再塗装工	排水ます	4
	排水管	4
	排水管取付金具	4

：鋼部材再塗装工

施 工 手 順



Rc-I 塗装系（スプレー）

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m) ²	塗装間隔
素地調整	1 種		4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

※1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。

※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

※3: プラスト処理による除せいでISO Sa 2 1/2とする。

注 記

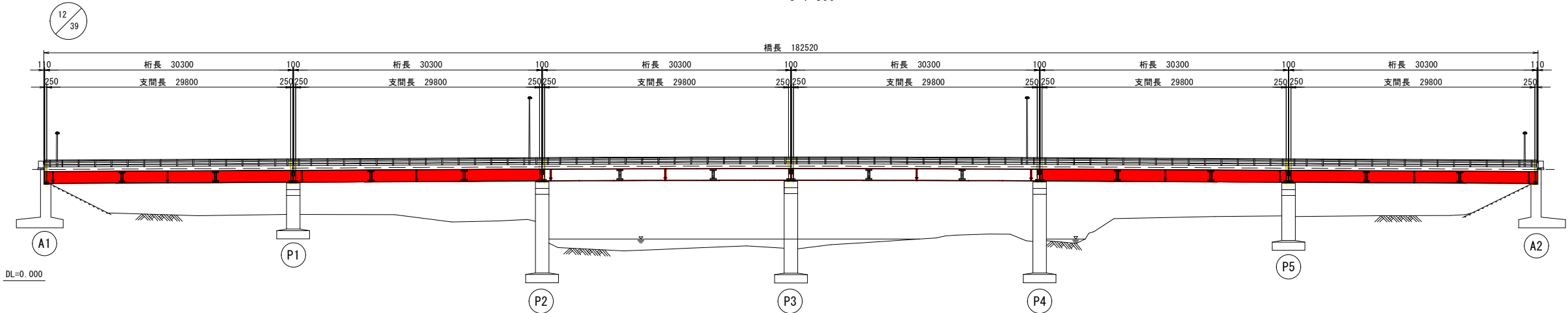
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 再塗装の色は監督職員と協議して決定すること。

令和7年度 神明橋橋梁補修工事			
工事番号		第 10 号	
路線名		阿光坊線	
施工箇所		おいらせ町阿光坊地内	
主桁表面処理工図 (その1)		縮尺	図示
図面番号	業中		
おいらせ町			
青 森 県			

神明橋 主桁表面処理工図（その1）

側面図

S=1:300

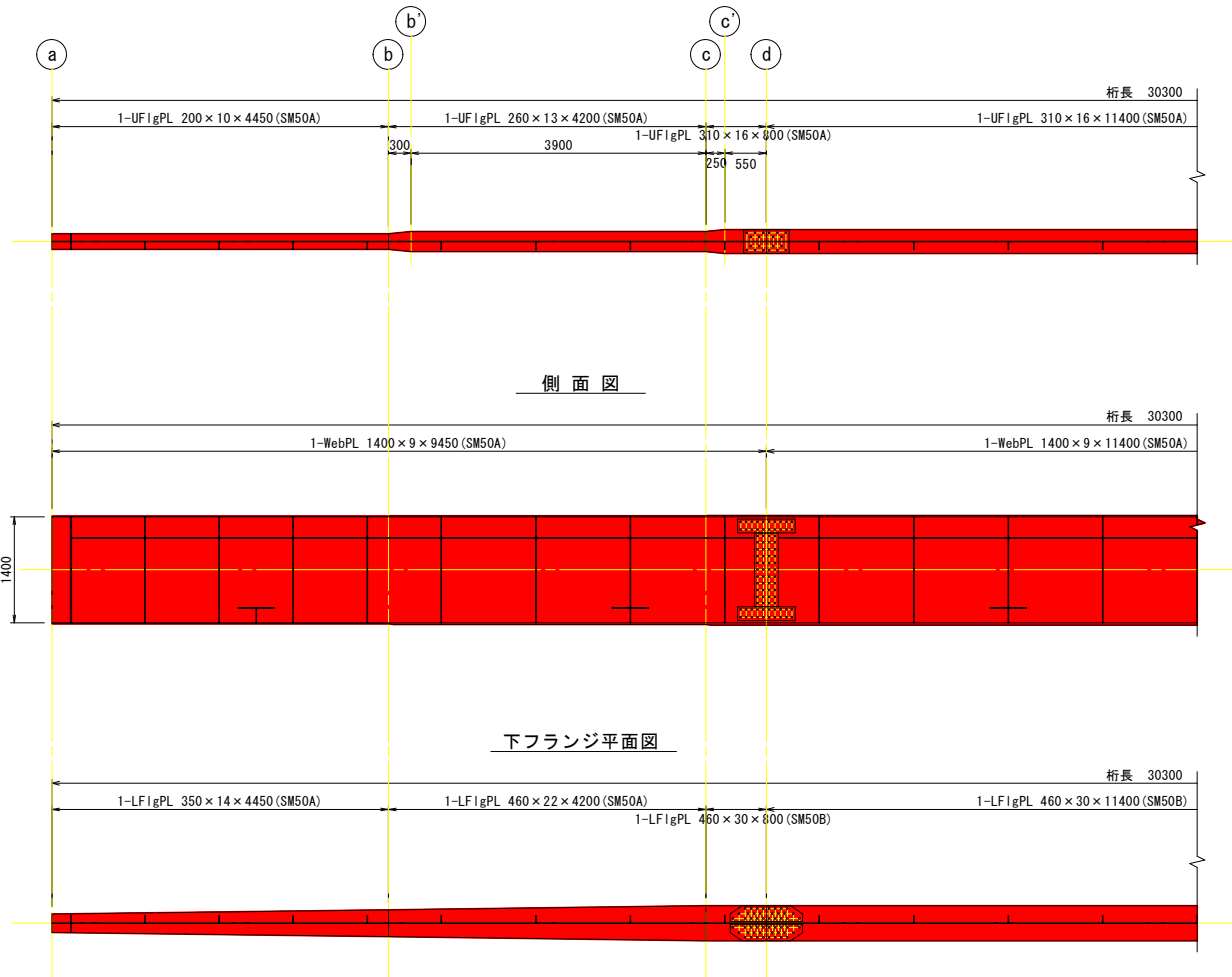


主桁

S=1:50

第1径間～第6径間

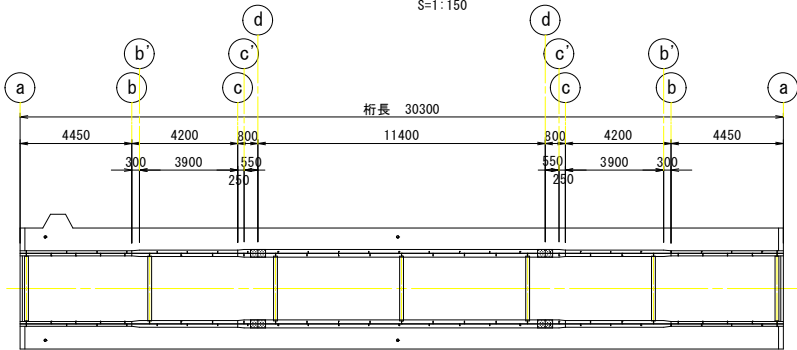
上フランジ平面図



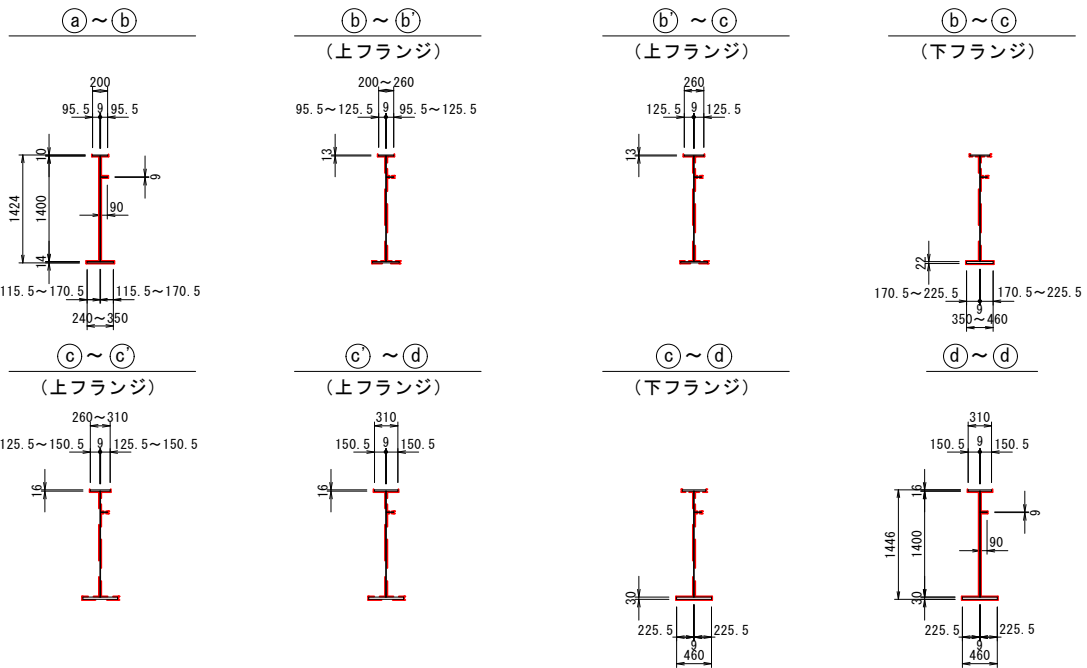
鋼部材再塗装工

平面図

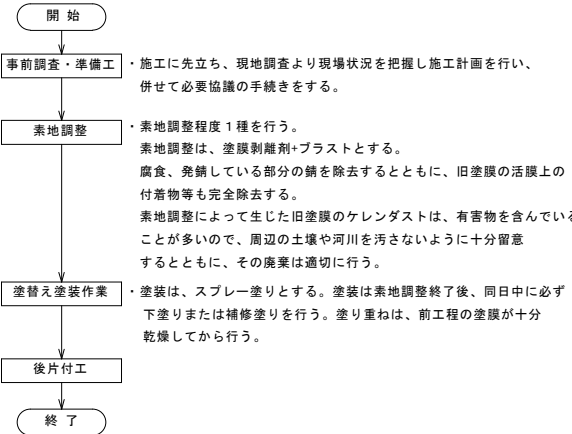
S=1:150



断面図



施工手順

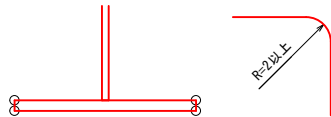


Rc-I塗装系（スプレー）

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種		4時間以内
下塗り	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	240	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	240	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗り	170	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	140	1日～10日

※1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
※3: プラスト処理による除せい度ISO Sa 2 1/2とする。

エッジ部曲面仕上げ



※ エッジ部は膜厚が確保されにくいことから、一般部と同等の塗膜性能を確保するため2R以上の面取りを行い、曲面仕上げとすること。
(下フランジエッジ部：4角を対象とする)
また、曲面仕上げを行ったエッジ部は、以下に留意し先行塗装を行う。
① 各層での膜厚不足を回避するため、先行塗装は各層で行うこと。
② 先行塗装は一般部と同じ膜厚とする。また、膜厚過多による硬化不良を起こさないことに注意し、本塗りと同日施工でも構わないこととする。

注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 再塗装の色は監督職員と協議して決定すること。

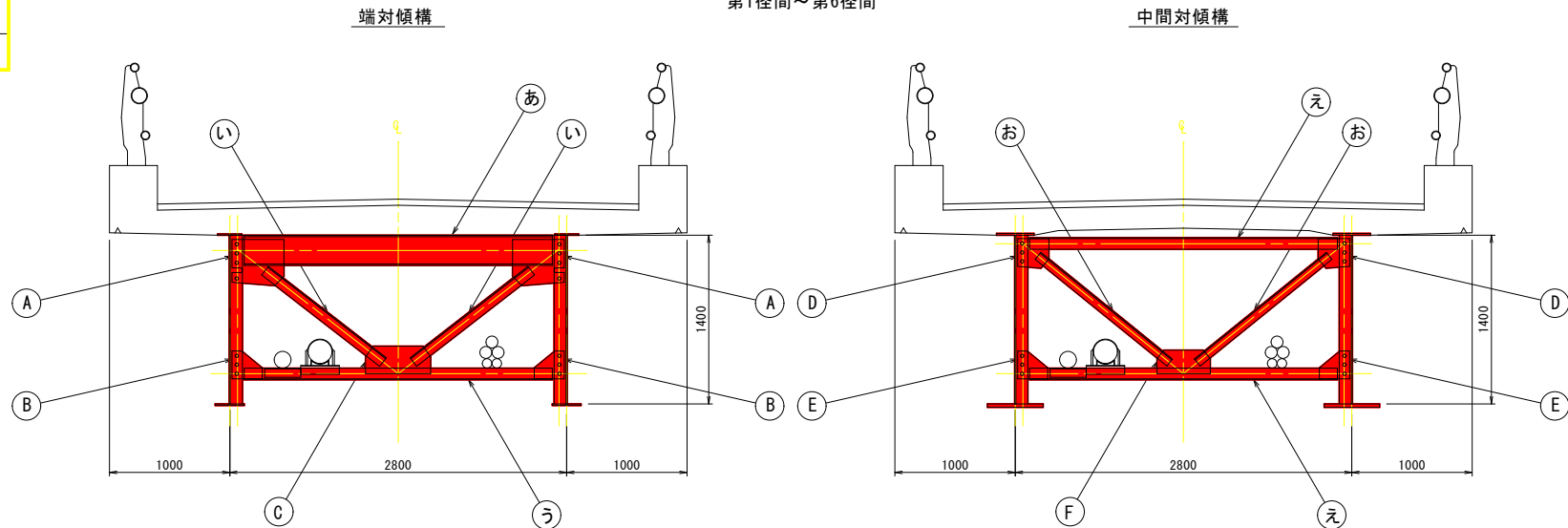
令和7年度 神明橋橋梁補修工事			
工事番号		第 10 号	
路線名		阿光坊線	
施工箇所		おいらせ町阿光坊地内	
主桁表面処理工図 (その2)		縮尺	図示
図面番号	業中		
おいらせ町			
青 森 県			

神明橋 主桁表面処理工図（その2）

対傾構

S=1:30

第1径間～第6径間

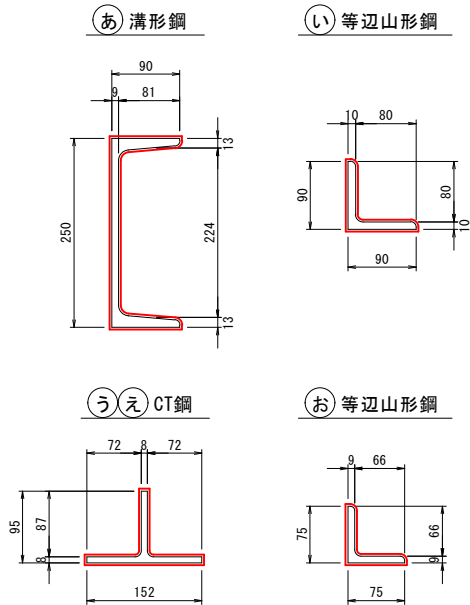


対傾構ガセットプレート詳細図

S=1:5

対傾構断面図

S=1:5

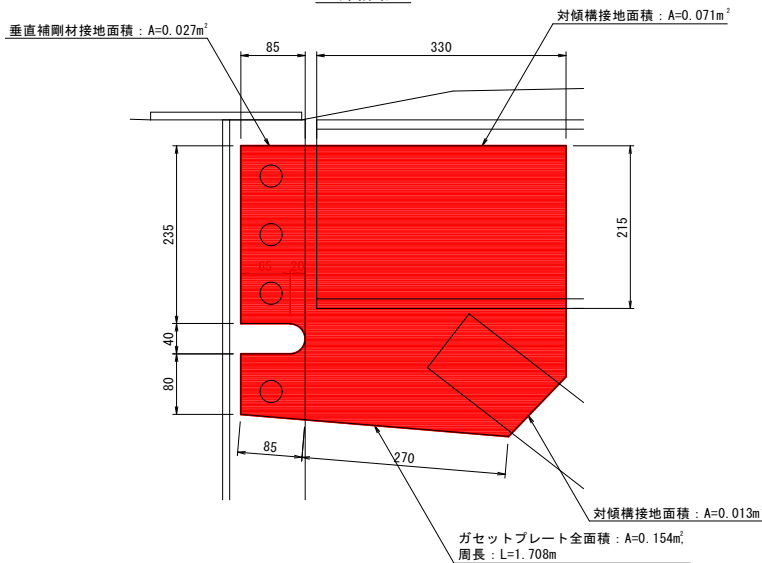


数量表（1径間当り）

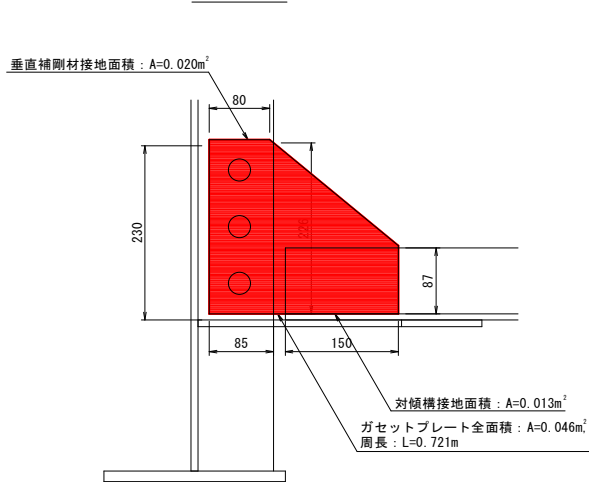
工 法	箇 所	寸 法	数量
鋼部材再塗装工	対傾構 ガセット プレート	A) 355×9×355	4
		B) 230×9×250	4
		C) 230×9×540	2
		D) 230×9×260	10
		E) 230×9×250	10
		F) 195×9×445	5

工 法	箇 所	寸 法	数量
鋼部材再塗装工	対傾構	あ) 250×90×9×13×2560	2
		い) 90×90×10×1240	4
		う) 95×152×8×8×2560	2
		え) 95×152×8×8×2560	10
		お) 75×75×9×1410	10

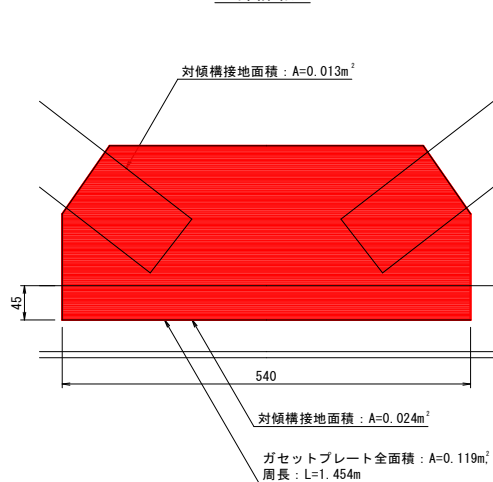
A部詳細



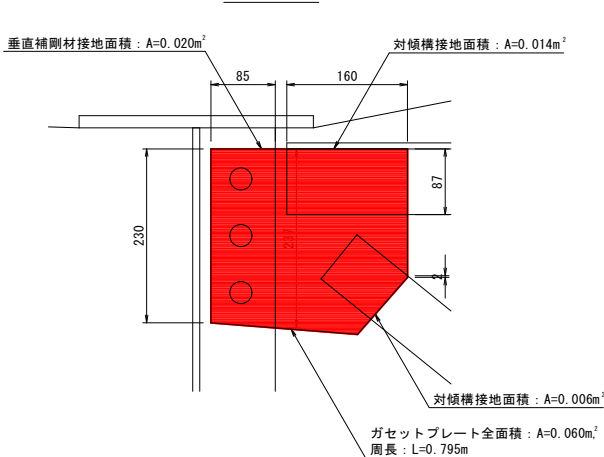
B部詳細



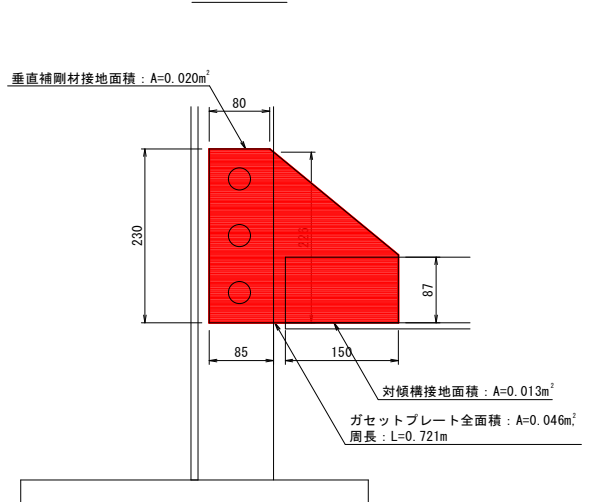
C部詳細



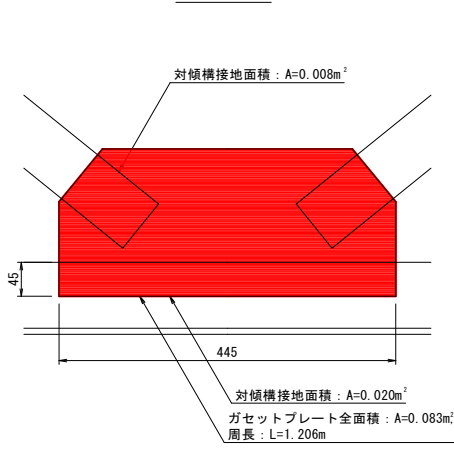
D部詳細



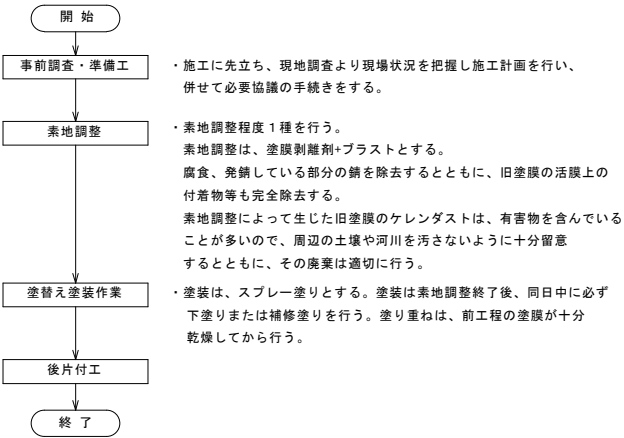
E部詳細



F部詳細



施 工 手 順



Rc-I塗装系（スプレー）

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m) ²	塗装間隔
素地調整	1 種		4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

※1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
※3: プラスト処理による除せいでISO Sa 2 1/2とする。

■ : 鋼部材再塗装工

注 記

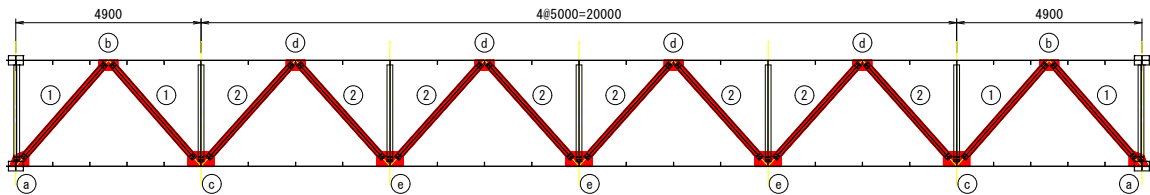
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 再塗装の色は監督職員と協議して決定すること。

令和7年度 神明橋橋梁補修工事			
工事番号		第 1 0 号	
路線名		阿光坊線	
施工箇所		おいらせ町阿光坊地内	
主桁表面処理工図 (その3)		縮尺	図示
図面番号	業中		
おいらせ町			
青 森 県			

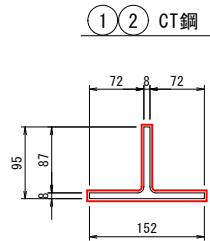
神明橋 主桁表面処理工図（その3）

下横構
S=1:100
第1径間～第6径間

平面図



下横構断面図
S=1:5

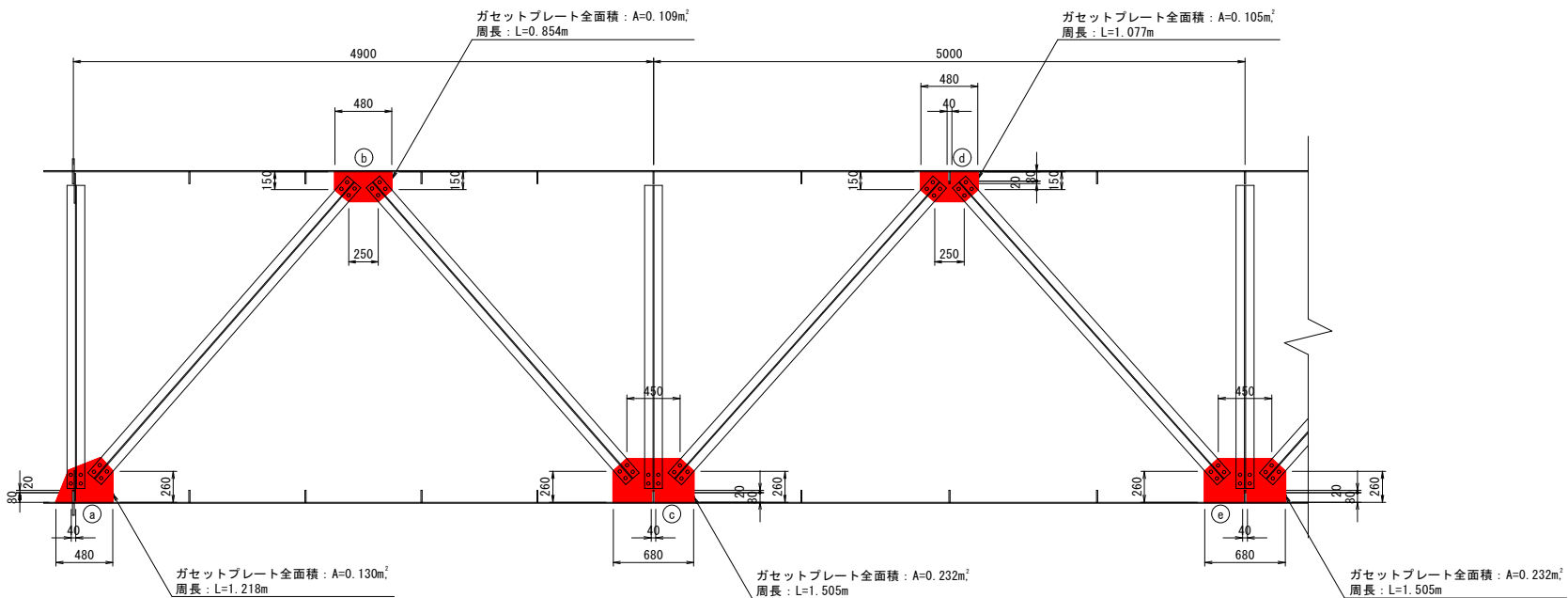


数量表（1径間当り）

工 法	箇 所	寸 法	数量
鋼部材再塗装工	下横構 ガセットプレート	a) 375×9×480	2
		b) 250×9×480	2
		c) 365×9×680	2
		d) 250×9×480	4
		e) 365×9×680	3

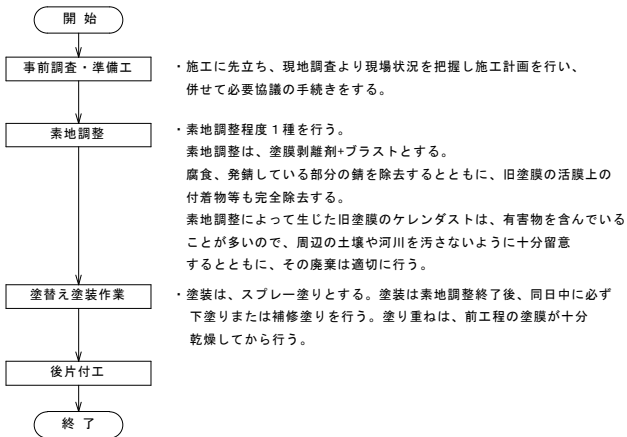
工 法	箇 所	寸 法	数量
鋼部材再塗装工	下横構	① 95×152×8×8×3330	4
		② 95×152×8×8×3360	8

下横構ガセットプレート詳細図
S=1:30



下横構詳細図
S=1:10

施 工 手 順



Rc-I塗装系（スプレー）

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m) ²	塗装間隔
素地調整	1 種		4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

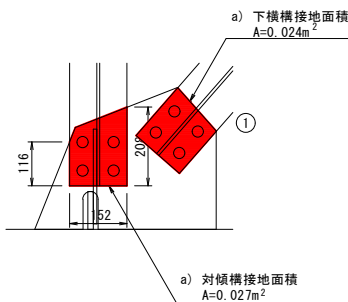
※1:原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
※2:現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
※3:プラスト処理による除せいでISO Sa 2 1/2とする。

■ : 鋼部材再塗装工

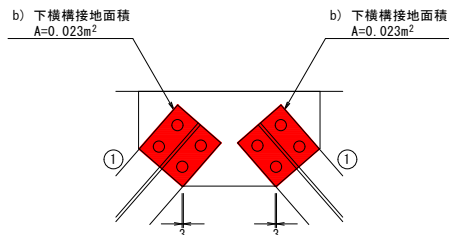
注記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 再塗装の色は監督職員と協議して決定すること。

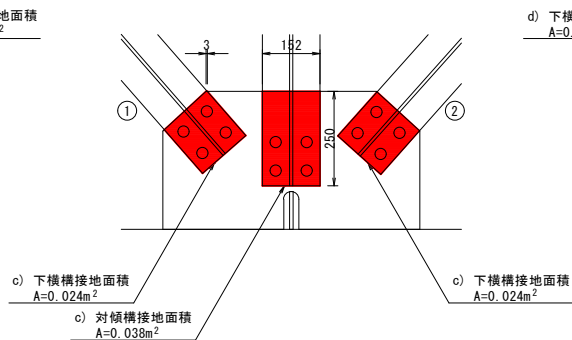
a部詳細



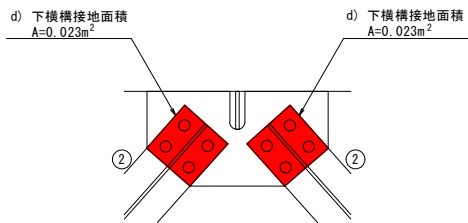
b部詳細



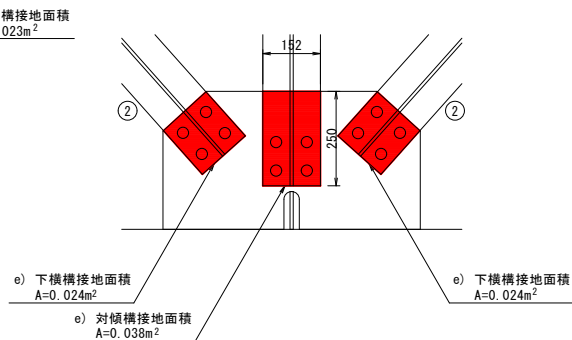
c部詳細



d部詳細



e部詳細



令和7年度 神明橋橋梁補修工事			
工事番号		第 10 号	
路線名		阿光坊線	
施工箇所		おいらせ町阿光坊地内	
主桁表面処理工図 (その4)		縮尺	図示
図面番号	業中		
おいらせ町			
青 森 県			

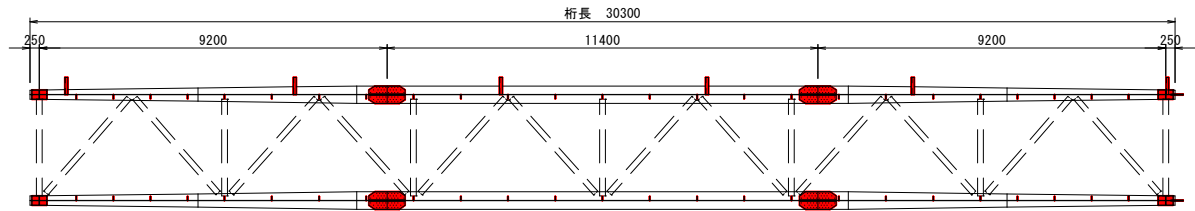


神明橋 主桁表面処理工図（その4）

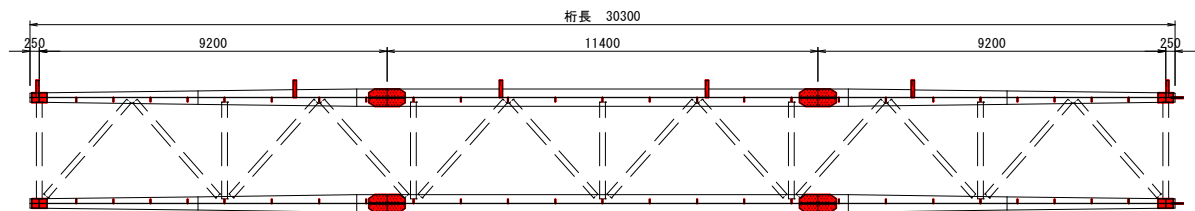
平面図

S=1:100

第1径間、第6径間



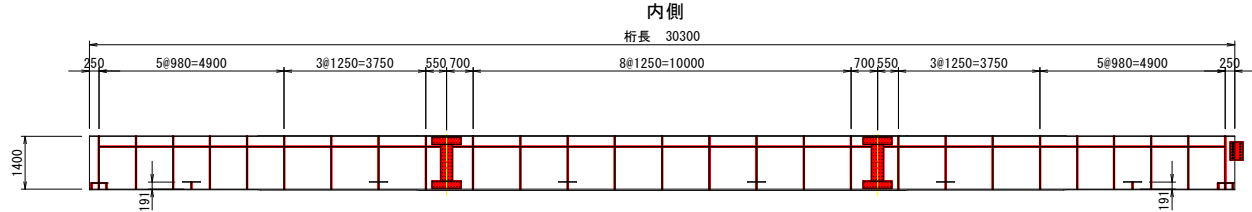
第2径間～第5径間



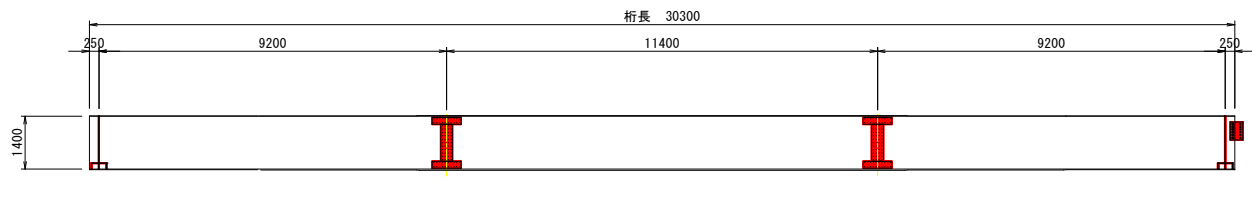
側面図

S=1:100

第1径間～第6径間



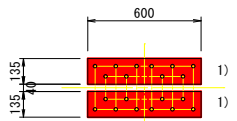
外側



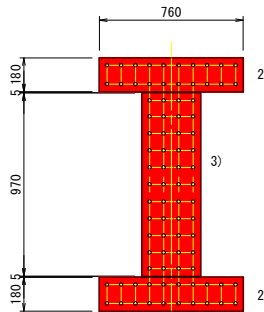
添接板詳細図

S=1:20

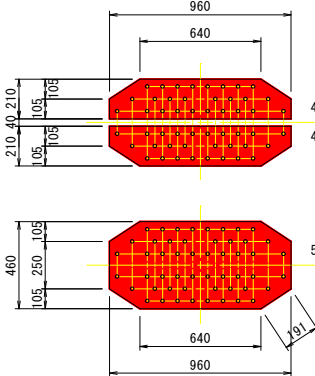
上フランジ平面図



ウェブ側面図



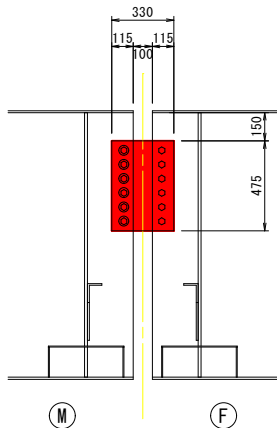
下フランジ平面図



落橋防止装置詳細図

S=1:20

t=9mm



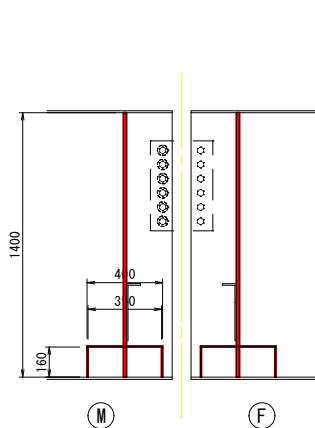
(M)

(F)

垂直補剛材（支点部）詳細図

S=1:20

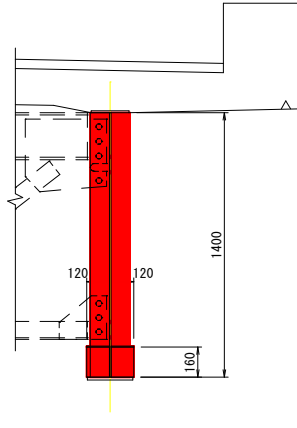
側面図



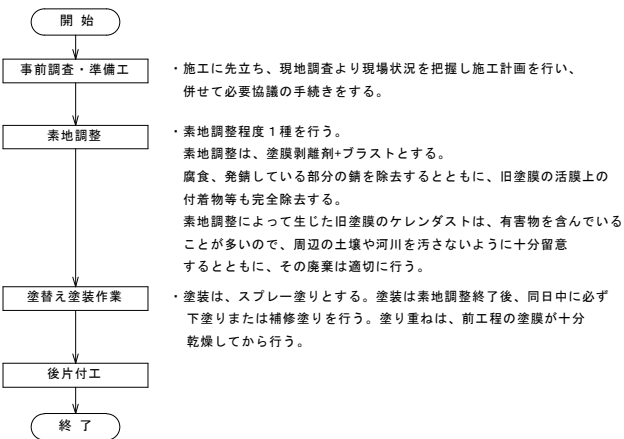
(M)

(F)

断面図



施工手順



Rc-I塗装系（スプレー）

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1 種		4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

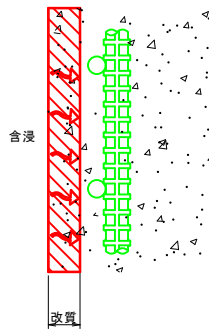
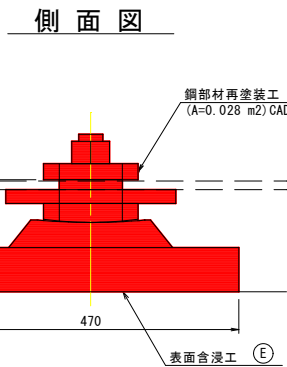
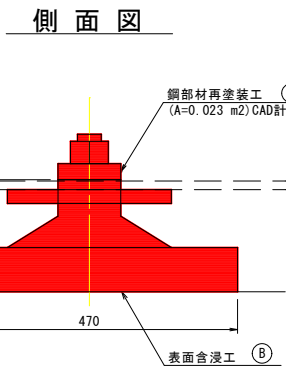
※1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
※3: プラスト処理による除せいでISO Sa 2 1/2とする。

：鋼部材再塗装工

注記

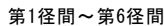
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 再塗装の色は監督職員と協議して決定すること。

22
39

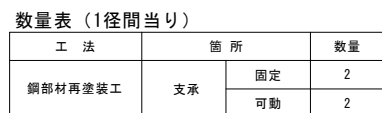


材 料 表

高分子系表面含浸材の施工仕様例



数量表（1径間当り）

Rc-I塗装系（スプレー）

※1:原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
 ※2:現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
 ※3:プラスト処理による除せいでISO Sa 2 1/2とする。

注記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 再塗装の色は監督職員と協議して決定すること。

令和7年度 神明橋橋梁補修工事			
工事番号		第 10 号	
路線名		阿光坊線	
施工箇所		おいらせ町阿光坊地内	
施工要領図 (参考図) (その3)		縮尺	図示
図面番号		業中	
おいらせ町			
青 森 県			

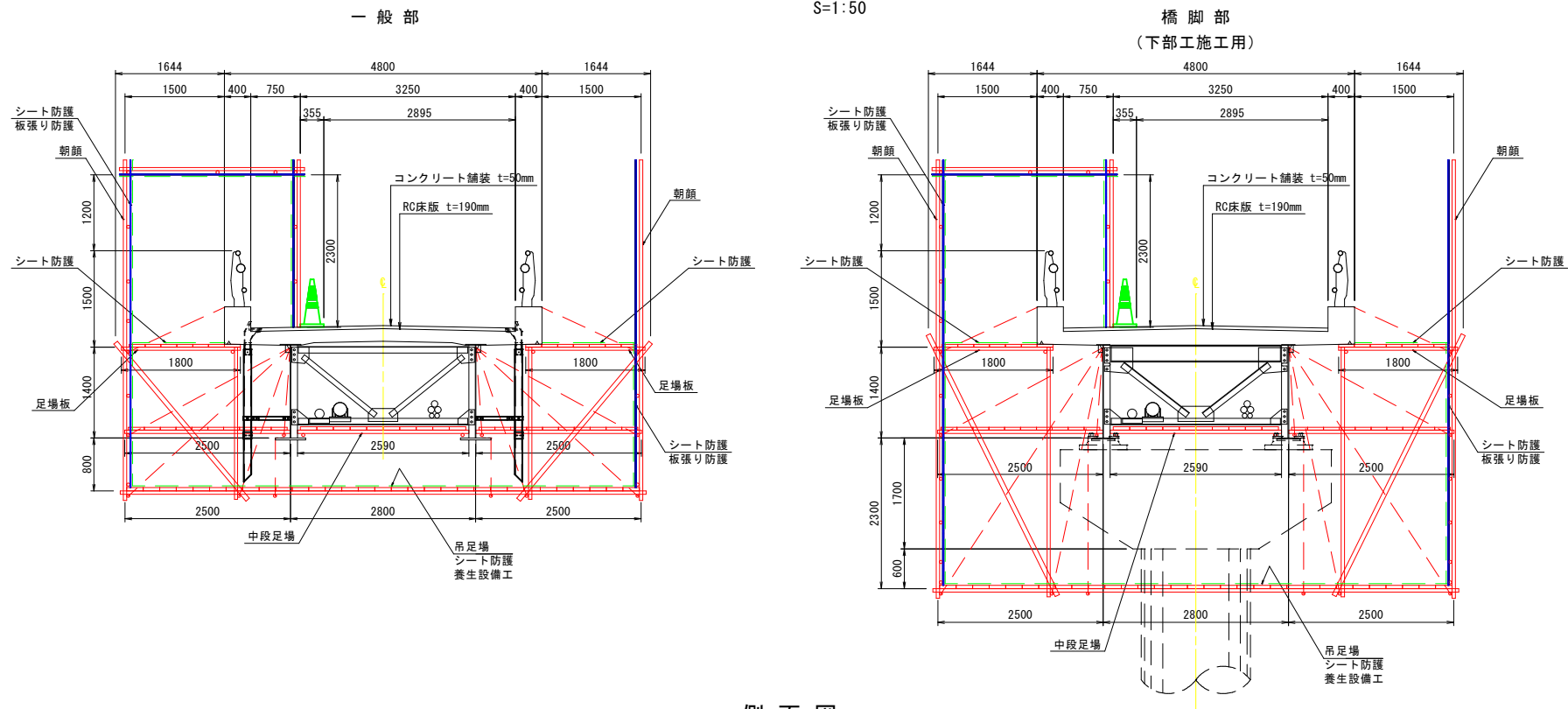


神明橋 施工要領図（参考図）（その3）

第3期・第4期施工

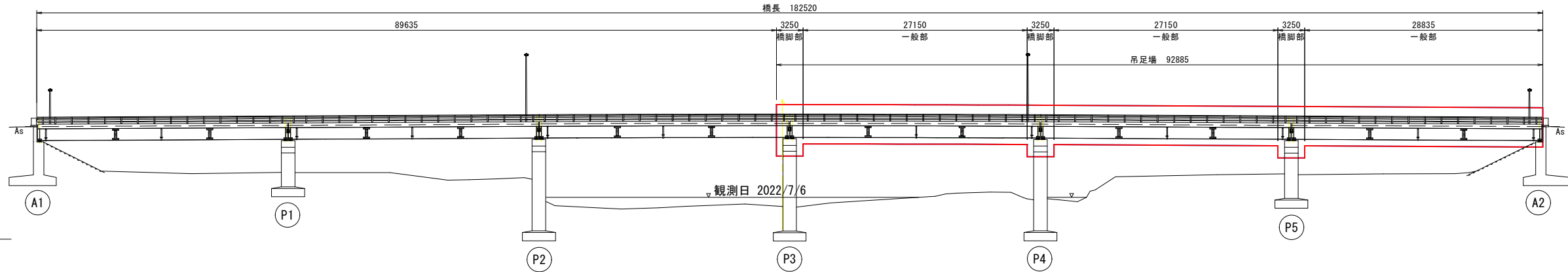
断面図

S=1:50



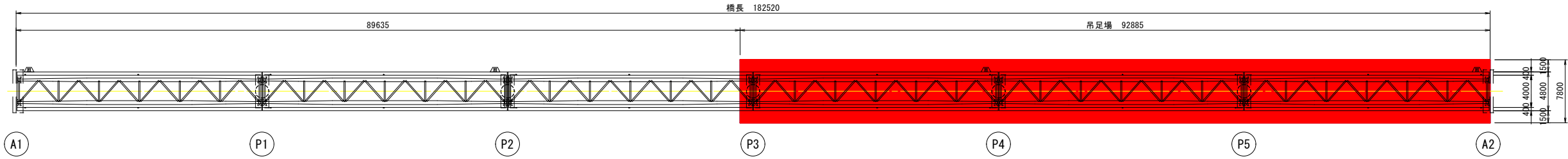
側面図

S=1:300



平面図

S=1:300



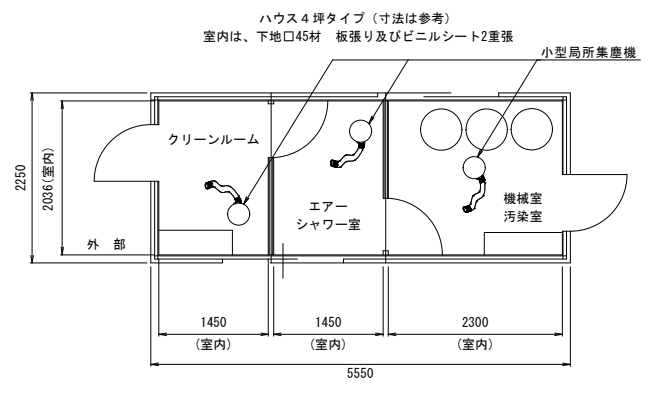
- 注記
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 - 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - 工事にあたり、仮設方法(本業務では吊り足場)などについて、現地の状況を確認後、適する工法を選定し、関係諸機関と協議を行ってから作業すること。

令和7年度 神明橋橋梁補修工事		
工事番号	第 10 号	
路線 河川 名	阿光坊線	
施工箇所	おいらせ町阿光坊地内	
施工要領図 (参考図) (その4)	縮尺	図示
図面番号	業中	
おいらせ町		
青 森 県		

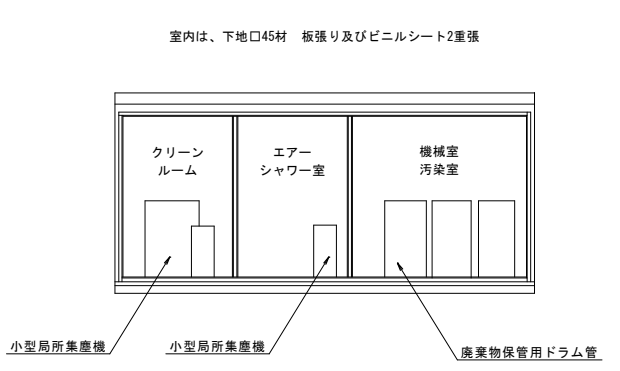
神明橋 施工要領図（参考図）（その4）
第3期・第4期施工

塗装材処理棟詳細図
S=1:50

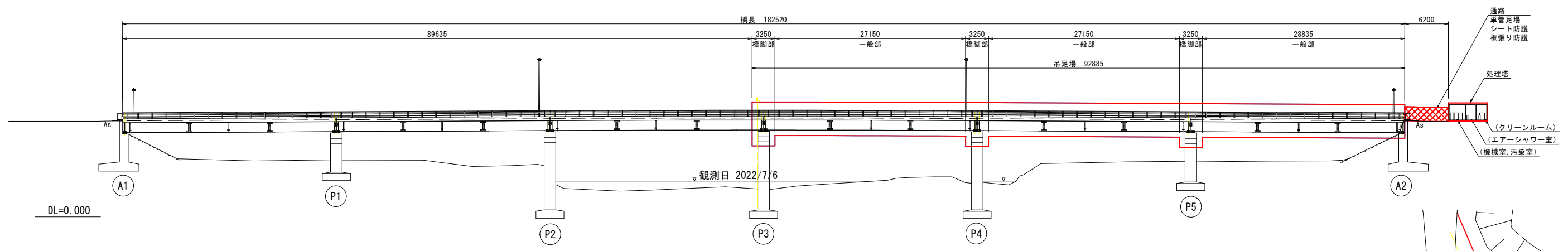
平面図



断面図



側面図
S=1:300



平面図
S=1:300

